

交流プログラムの概要

「令和元年度 アジア・太平洋輝く女性の交流事業」は、日本から13名、アジア・太平洋諸国から20名のメディア業界で活躍する女性記者を招聘し、3日間の交流プログラムの実施を通して参加者の交流を図った。交流プログラムの目的は、日本とアジア・太平洋諸国の主に新聞社・テレビ局等のメディア業界で活躍する女性記者に焦点を当て、各国間の相互理解の促進、及び議論等を通じた女性記者のネットワーク構築を図ることである。全体テーマは「Hasshin!」であり、これには前述の通り、「発信」と「発進」の2つの側面がある。交流プログラムの実施に当たり、プログラム参加者を対象に事前アンケートを行い、各国における女性活躍や報道の現状について把握し、交流プログラムへの参加に向けた関心事項の聴取を行った。プログラム参加者は、交流プログラム参加を通して得た成果や気づき、ギャップについて参加者間で意見や考えを共有した。また、プログラム実施後には、プログラム参加者を対象に事後アンケートを実施し、本事業の今後の参考とした。

1日目 交流会・シンポジウム

目的： メディア業界での女性活躍に関する事例共有、意見交換

日時： 2019年12月1日（日）10:00～18:00

場所： 京王プラザホテル

テーマ：「アジア・太平洋輝く女性のHasshin! ～メディアが創る新しい時代～」

次第： 午前 オリエンテーション・交流会

午後 シンポジウム、意見交換会、国際交流

2日目 視察

目的： 「課題先進国」である日本が抱える課題の理解と、それに対する取組の視察・取材

日時： 2019年12月2日（月）9:00～17:00（開始時刻・終了時刻はグループによって異なる）

場所： それぞれの視察先

次第： 「少子高齢社会と介護」「スポーツと女性の健康」「バリアフリー社会」「防災」のグループに分かれ、各テーマに関連する2か所の視察先に訪問

3日目 意見交換会

目的： 各国の新聞社・テレビ局等における報道や女性活躍等に関する議論

日時： 2019年12月3日（火）9:00～13:30

場所： 京王プラザホテル

次第： 2日目視察の振り返り、グループ討議、「発進宣言」の作成、閉会挨拶、写真撮影